

令和6年度 茨城県PTA振興大会

期日 令和6年11月24日(日)
 場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館
 主催 茨城県PTA連絡協議会
 (一社)茨城県PTA安全互助会
 後援 茨城県教育委員会
 (公社)茨城県青少年育成協会

11月24日(日)茨城県教育庁総務企画部長 川和田 由紀
 子 様, 茨城県学校長会会長 大芝 静香 様をはじめ, 多数の
 ご来賓の皆様にご臨席をいただき, 本年度の茨城県PTA振興大会を開催いたしました。

今年は「みんなのお悩み110番」の大会テーマのもと, 参加された皆さんのPTA活動や教育
 環境等への疑問を少しでも解決できる大会となることを目指しました。

まず, 各学校で取組の始まった「コミュニティスクール」にどう取り組んだらよいのか? NPO
 法人教育支援ネットワークT-KNITの塩畑 貴志 様に「社会教育士が教えるコミュニティスク
 ールの役割と具体的な活動」と題し, ご講演いただきました。

後半は塩畑様をはじめ, 県教育委員会各課のご担当の方々にご参加いただき, 「学校の働き方改
 革」「部活動地域移行」「教育環境整備」などの課題への質問に答えていただく, フォーラムを行いま
 した。会場の皆さんのも Google フォームで参加してもらいました。



200名以上の会員にご参加
 いただきました。



茨P連草地会長の主催者挨拶



県教委総務企画部長
 川和田様のご祝辞



NPO法人教育支援ネットワークT-KNIT
 塩畑様のコミュニティスクールについての講演



県学校長会会長
 大芝様のご祝辞



フォーラム「みんなのお悩み110番」



【Gフォームの会員の声】
 ○塩畑さんのお話もっとたくさんの方に
 聞いて知ってもらいたい。全学校で説明
 できませんか？

○自治会や地域地区会との協働について
 も、これからの時代に合った形を模索で
 けるといいと思います。

○保護者も夫婦共働きしている状況で
 PTA 活動も働き方を変えていかないとい
 けないと思います。報道等でも PTA
 に対するネガティブなイメージもあり、
 子供たちのためにやらないといけないこ
 と、できれば取り組むこと、新しい取り
 組みなどできる範囲が各校で異なると思
 います。活性化に向けた取り組みはどう
 いったことがありますでしょうか。

○市町村によって、教育環境の差がある
 と不安です。

※一部抜粋